新幹線効果で湧く鹿児島県

山陽・九州新幹線直通運転　九州新幹線全線開業1周年

3月12日で、山陽・九州新幹線相互直通運転開始と九州新幹線が全線開業して1周年。相互直通運転と全線開業効果で、多くの観光客が訪れている鹿児島県の今年度下期から来年度の取り組みを紹介する。

新幹線開業効果の維持・拡大へ アートをテーマにキャンペーン

好調鹿児島観光

山陽・九州新幹線相互直通運転開始と九州新幹線が全線開業の前日に東日本大震災が発生し、当初は利用が伸び悩んだが5月のゴールデンウィーク頃から利用者は急速に回復。鹿児島県の調査によると、主要な温泉地である指宿は、宿泊客が5月からは前年同月比で130%～170%と大幅に増加。口蹄疫や新燃岳噴火の風評被害で苦しんでいた霧島温泉も前年を上回る宿泊客が訪れている。

JRグループと南九州3県（熊本県・宮崎県・鹿児島県）が昨年10月～12月に開催した「熊本・宮崎・鹿児島デスティネーションキャンペーン」期間中には、あまりにも多くの観光客が訪れたため観光バスが足りなくなった。主要な宿泊施設も予約が困難になったほか、山陽・九州新幹線相互直通の「みずほ」「さくら」が満席どころか、旅行行程に組みやすい時間帯の山陽新幹線「のぞみ」も満席となった。

また、関西圏、中国地域では、南九州3県が、JR西日本と連携して、大型宣伝と旅行会社と連携したキャンペーンを展開。関西圏と中国地域からの観光客が大幅に増加した。

3月17日のダイヤ改正では、山陽・九州新幹線相互直通列車が増便。最速の「みずほ」も1往復増発される。さらに新大阪～鹿児島中央間は所要時間が3分短縮され、3時間42分となる。また相互直通列車の団体貸切もスタートし、旅行会社や大型団体、修学旅行の誘致拡大にも期待が高まっている。山陽・九州新幹線相互直通列車は、1日16本（8往復）増発され、1・5倍の46本（23往復）。そのうち2本（1往復）は最速タイプの「みずほ」となる。

アートで霧島

鹿児島県では、2012年のキックオフイベントとして、霧島アートの森で、「オープニング&パフォーミングアート」が、湧水町のJR栗野駅に隣接する丸池公園で「湧水〝まちなか〟アートフェスタ」が、霧島国際ホテルロビーでは、夜クラッシックのミニコンサートが開催される。

2次アクセスの整備

霧島の2次アクセスとして、JR九州といわさきバスネットワークは、霧島『のったりおりたりマイプラン』バス1日乗車券を発売している。指定の区間のバスの乗り降りが自由で1日1千円の乗車券。霧島いわさきホテルやいわさきバスネットワーク国分営業所、鹿児島空港「国内線ターミナル1階バス案内所」、JR九州の駅みどりの窓口、JR九州旅行支店、霧島温泉観光案内所、霧島市観光案内所（霧島神宮前）、舎はやとの風（隼人駅前）、国分駅、隼人駅、霧島神宮駅で販売している。

指定の区間は、「妙見温泉バス」隼人駅～妙見温泉～嘉例川駅～空港、いわさきバスの丸尾温泉～鹿児島空港、丸尾温泉～霧島温泉駅、丸尾温泉～妙見日当山～国分。

霧島アートの森（鹿児島県姶良郡湧水町木場6340―220）

霧島アートの森は、霧島山麓の標高約700㍍、広さ約13㌶という広大な敷地に、アートの森」や「霧島自然ふれあいセンター」とともに、芸術文化の振興のみならず、自然と芸術、温泉を組み合わせた観光振興も担っている。770席の主ホールは、音響学の最新の成果を取り入れ、ホールの奥に進むほど少し狭くなる木の葉型の平面と船底型の天井などを採用。立体感のある豊かな響きを味わうことができる。

キャンペーン期間中は、月に1回、夜「きりしま郷土芸能の夕べ」が開催されるほか、主ホールで行事が行われない時には、団体客の事前予約による有料のミニコンサートも上演される。事前に依頼すれば演奏される楽曲をリクエストできる場合もある（実際演奏可能か確認が必要）。過去には、学校や同窓会などの団体が校歌の演奏やステージに立っての合唱も行っている。

きりしま郷土芸能の夕べは、天孫降臨の地・霧島の郷土芸能である「霧島神楽」や「霧島九面太鼓」を、間近で観覧することができる人気の音楽イベント。

みやまコンセールの喫茶コーナーには、カフェ「Noah coffee」がオープンしている。幻のコーヒーといわれる国産の沖永良部島コーヒーを提供。また紅茶も地元の鹿児島のお茶を紅茶にして提供している。キャンペーン期間中は、限定のスイーツのセットも販売する。

みやまコンセールの開館時間は9時～17時。休館日は月曜日、休館日が祝日の場合は翌日休館。年末年始の休館日もある。また、喫茶コーナーの営業時間は開館日の10時から16時となっている。

アート体験メニュー

アートをテーマにした旅行の中で、気軽に創作を体験できるメニューが、観光施設「まほろばの里」で用意されている。

薩摩焼の陶芸教室では、ロクロ、手びねり、絵付けなど、陶器の全てを学ぶことができる。陶芸教室絵付け教室630円～、手びねりコース1575円～（送料別）、ロクロコース1575円（送料別）。

ガラス工芸教室では、薩摩切子のガラスカットやガラス宙吹きを体験できる。ガラス宙吹き体験1050円、一輪挿し／タンブラー製作5250円（送料別）。

また、陶器工場が見学できる。おもに焼酎の徳利を製造しており、坂本龍馬や西郷隆盛など珍しい南九州の化粧瓶（4合徳利）入りの焼酎を購入することができる。

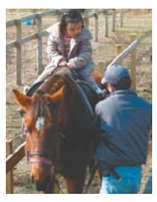
ホーストレッキング

霧島アートの森やみやまコンセールの近くには、霧島アート牧場がある。絵画のような霧島の牧場や丘を馬で駆け上がるホーストレッキングが人気となっている。標高700㍍の高原からは、鹿児島湾に浮かぶ桜島も見える。また隣接した引退馬の牧場「ホーストラスト」で、サラブレッドを見学することもできる。おためしコース30分3200円、60分6300円（初心者）。他にも、なみあしコース（初級）、はやあしコース（中級）、かけあしコース（上級）やロングトレイル（1日コース）もある。

キャンペーン期間中は、アート牧場の丘にある「オーガニックカフェ　ミース」で、マフィンとドリンクの特別セットメニューが販売される。

霧島アートの森

みやまコンセール


ホーストレッキング

陶芸体験

霧島国際ホテルのオブジェ

旅行人山荘の露天風呂

2次アクセスを整備

九州新幹線全線開業1周年を迎えて

伊藤祐一郎
鹿児島県知事

九州新幹線が全線開業し、3月で1周年を迎えます。南の鹿児島から北の青森まで、日本列島の南北が一本の動脈で結ばれたことにより、鹿児島が魅力ある地域へと発展していく「新しい時代の幕開け」を迎えました。特に、関西・中国地区を中心として県外から多くの皆様に鹿児島を訪れていただいており、観光やビジネス等において、新幹線を軸とした相互交流が盛んに行われています。

鹿児島では、全国の多くの皆様に、本県の豊かな自然や個性ある歴史・文化、黒豚・黒牛をはじめとする多彩な食材、桜島や錦江湾をはじめ、南の島々に広がる雄大な景観など、「本物」の素材にふれながら、悠然とした「スローライフ」の旅を満喫いただけるものと思っており、これからも、アジアにおける我が国の南の観光・交流拠点として、「おもてなし」の心と「本物。鹿児島県」の多彩な素材に一層磨きをかけてまいります。

期待の大隅半島エリア

はやぶさ関連・平和学習・イルカランド・セグウェイ

鹿児島県では、指宿や知覧など有力観光地が多く新幹線効果に沸いている薩摩半島の対岸となる大隅半島エリアへの観光客誘致も行う。近年の取り組みで実績が出ているのが、関西圏からフェリー「さんふらわあ」を使った旅行。顕著に増加しているのが、学生のスポーツ合宿。安価で、団体行動を重視する学生のスポーツ合宿には、フェリーとエコノミーな宿泊施設の組み合わせは好評。合宿のほか、往路はフェリー利用し復路は新幹線という旅行商品も人気となっている。

また大隅半島は、小惑星探査機「はやぶさ」をテーマにした映画の舞台で、ロケ地でもあることから、フィルムツーリズムや教育旅行での観光客誘致も目指している。

小惑星探査機「はやぶさ」は、鹿児島県の大隅エリアにある肝付町の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられている。東映は2月11日に映画『はやぶさ遥かなる帰還』を公開。松竹は、「おかえり、はやぶさ」を3月10日に公開する。劇中には、内之浦宇宙空間観測所や宮原レーダテレメータセンターが登場する。

内之浦宇宙空間観測所は、実験期間中以外は見学が可能。衛星ケ丘（ほしがおか）展望台から巨大なスケールの内之浦宇宙空間観測所の全貌を見学できるほか、世界に誇るMロケットの発射台地のMセンター（ミューセンター）や実物大のロケットの模型も間近で見学できる。肝付町では、日本のロケット開発の父といわれる糸川英夫博士の銅像の設置や、小惑星探査機「はやぶさ」の大型模型の設置も予定している。

内之浦宇宙空間観測所の近くには、宇宙科学資料館もある。内之浦宇宙空間観測所（鹿児島県肝属郡肝付町南方1791―13）。

肝付町には、はやぶさのプロジェクトの中心的人物で映画でも描かれている的川泰宣博士と川口淳一郎博士のゆかりの地も多い。注目を集めているのが旅館「福の家（ふくのや）」と飲食店「ニューロケット」。旅館「福の家」は、現在でも的川博士と川口博士の常宿。各客室には内之浦から打ち上げた人工衛星の名前が付けられている。飲食店のニューロケットは糸川英夫博士の命名。はやぶさに関するユニークなエピソードを女将の橋元美保子さんから聞くこともできる。

はやぶさ関連の観光の問い合わせは、鹿児島県肝付町企画調整課商工観光係（099―65―8422）。

かのやばら園（鹿児島県鹿屋市浜田町1250番地）

鹿児島県鹿屋市の霧島ヶ丘公園内にある「かのやばら園」は、国内最大級のバラ園。面積は8㌶、株数5万株。4月27日にリニューアルオープンする。

今年1月にイギリスの「デイビッド・オースチン・ローズ社」からイングリッシュローズの寄贈があり、イングリッシュローズガーデンを拡張整備される。

ばら園には、カフェやばらグッズを取り揃えたショップなどが入る「ばらの館」もある。

鹿屋航空基地史料館（鹿児島県鹿屋市西原3―11―2）

鹿屋には、戦前から使われている歴史ある鹿屋航空基地があり、同基地内には、鹿屋航空基地史料館がある。鹿屋航空基地は、神風特攻隊で知られる特別攻撃隊の出撃基地でもあった。鹿児島県としても、知覧同様に平和学習ができる教育旅行の素材として、情報発信を行っている。

鹿屋航空基地史料館は、戦争に関する貴重な資料も数多く展示する施設で入館料は無料。

ゼロ戦（零式艦上戦闘機52型）が復元展示されているほか、屋外展示として、世界で唯一現存する二式大型飛行艇や現役を引退した海上自衛隊の航空機を展示。また基地の側には、神風特別攻撃隊として散った若者たちの、鎮魂の慰霊塔がある。

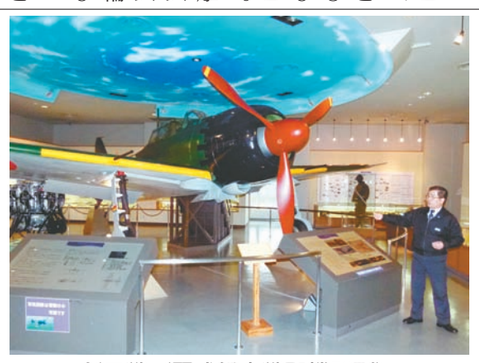
志布志湾大黒イルカランド（宮崎県串間市大字高松1481―3）

鹿児島県と宮崎県の県境に昨年7月にグランドオープン。3カ月で来場者10万人を突破した。イルカやペンギンのショーを楽しめるほか、体験型のメニューが充実している。イルカの体験メニューは、「両手で握手」、「ほっぺにキッス」、「わくわくタッチ（口元&尾びれ）」、「一緒に泳ぐフレンドリースイム」。ペンギンの体験メニューは、「ペンギン餌やり体験」。

併設の新鮮市場は入場無料。地元の新鮮な魚介類をはじめ鹿児島と宮崎の両県の土産品が揃う。簡単な軽食も取ることが出来る。団体などの昼食は同じグループの大黒リゾートホテルで対応している。

セグウェイガイドツアー

大隅エリアの大崎町にある日南海岸国定公園くにの松原で、セグウェイに乗ったガイドツアーが体験できる。珍しい未来感覚の乗り物のセグウェイに乗りながら、白砂青松100選にも選ばれている、くにの松原をガイドと一緒に散策。ガイドから防風林としての松林の重要性なども学べる。ツアーを行っているのは、道の駅くにの松原おおさき内にある「おおさき観光案内所」（鹿児島県曽於郡大崎町神領2419）。料金は1人4500円。定員は4人。所要時間は1時間10分。


ゼロ戦（零式艦上戦闘機52型）

Mセンター（ミューセンター）

イルカランド

セグウェイツアー

注目トピックス

鹿児島中央駅前に屋台村

「かごっまふるさと屋台村」が4月26日に鹿児島中央駅前（鹿児島県鹿児島市中央町6―5他）にグランドオープンする予定。運営はNPO法人鹿児島グルメ都市企画。県内各地の「食」と「焼酎」を気楽にリーズナブルに味わえる。居酒屋や郷土料理、ラーメンなど25軒の屋台が並ぶ。メニューは、黒豚の角煮や、竹炭溶岩焼鶏、薩摩黒おでんのほか、鰻串焼き、スペイン風居酒屋もありパエリアや鹿児島の豚を使った生ハムも楽しめる。また鶏飯など奄美料理の屋台もある。（運営：NPO鹿児島グルメ都市企画099―255―1588）

特急「指宿のたまて箱」が3両編成に

JR九州は、3月24日から、指宿枕崎線鹿児島中央～指宿間を運転している観光列車の特急「指宿のたまて箱」の編成を2両編成から、土日祝日や春休み・ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みなど、需要が高い時期に3両編成で運転をスタートする。特急「指宿のたまて箱」は、九州新幹線全線開業にあわせて運転を開始。鹿児島中央～指宿を毎日1日3往復運転していたが、「なかなか指定席が取れない」という声が多く寄せられていた。3月24日以降は、全車指定席で、2両編成時は定員60名、3両編成時は92名となる。

JR九州によると、「指定席がとりやすくなることで、旅行商品に組み込みやすくなる。増発される山陽・九州直通新幹線と合わせて、より多くの観光客に南九州の旅を楽しんでもらいたい」と話す。

特急指宿のたまて箱

問い合わせ先
鹿児島県観光交流局観光課
鹿児島市鴨池新町10―1　TEL／099―286―5050
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
鹿児島県鹿児島市名山町9―1鹿児島県産業会館内「本物。かごしまの旅」
TEL 099―223―5771　FAX 099―225―7484　http://www.kagoshima-kankou.com/